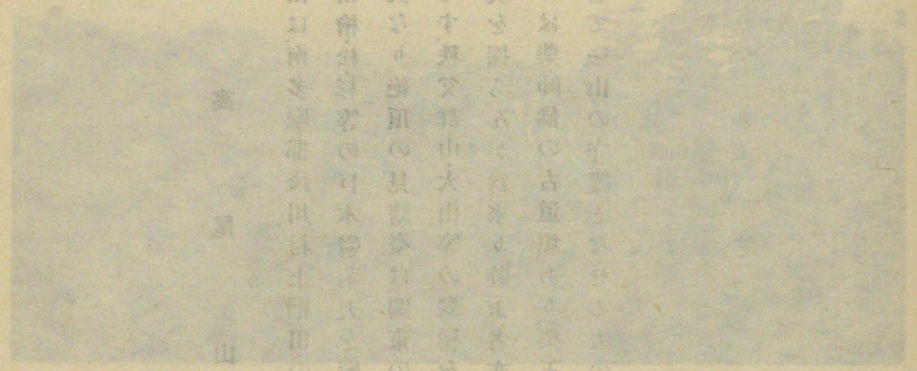


富士山

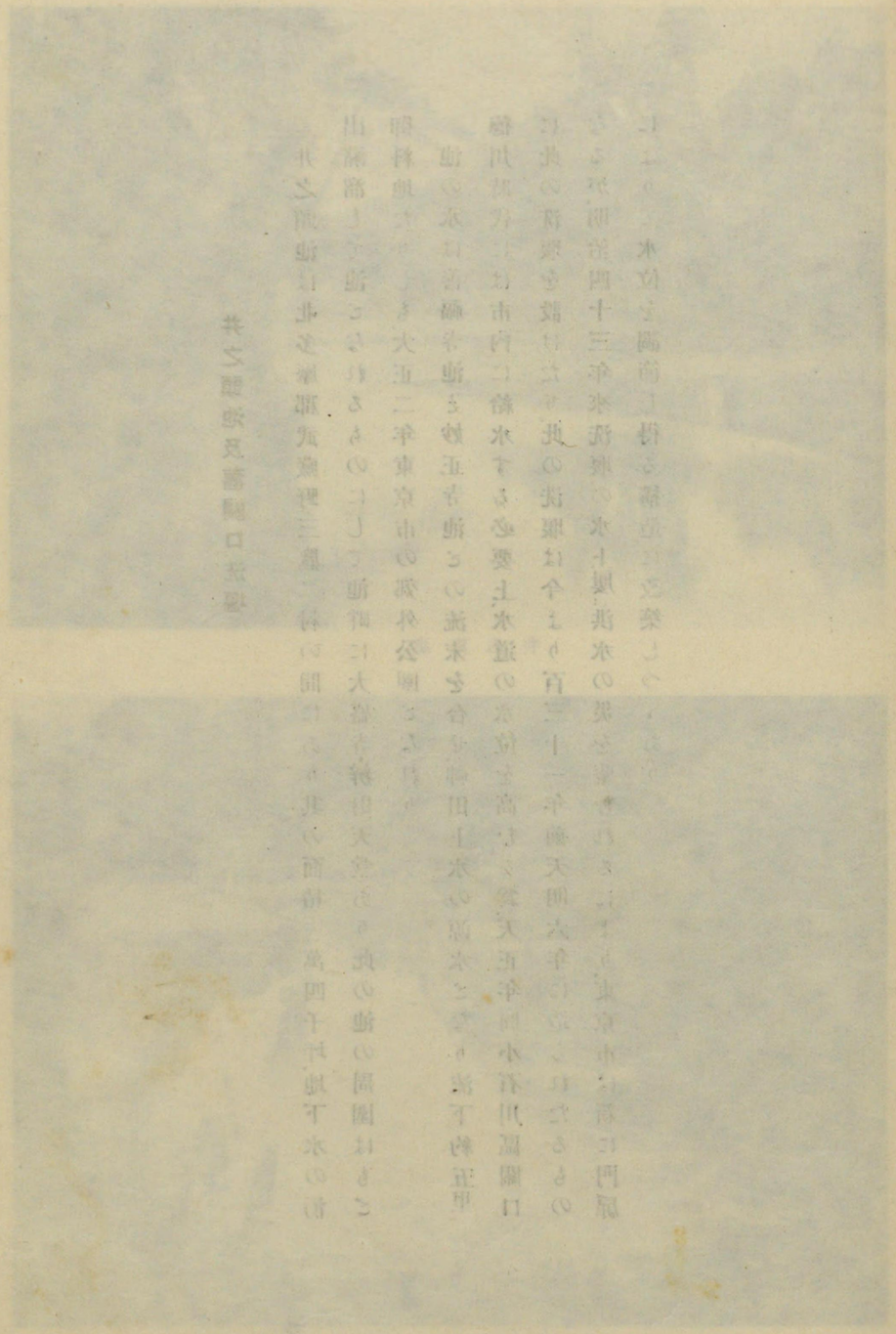
高尾山見晴臺の眺望

高尾山藥王院本殿

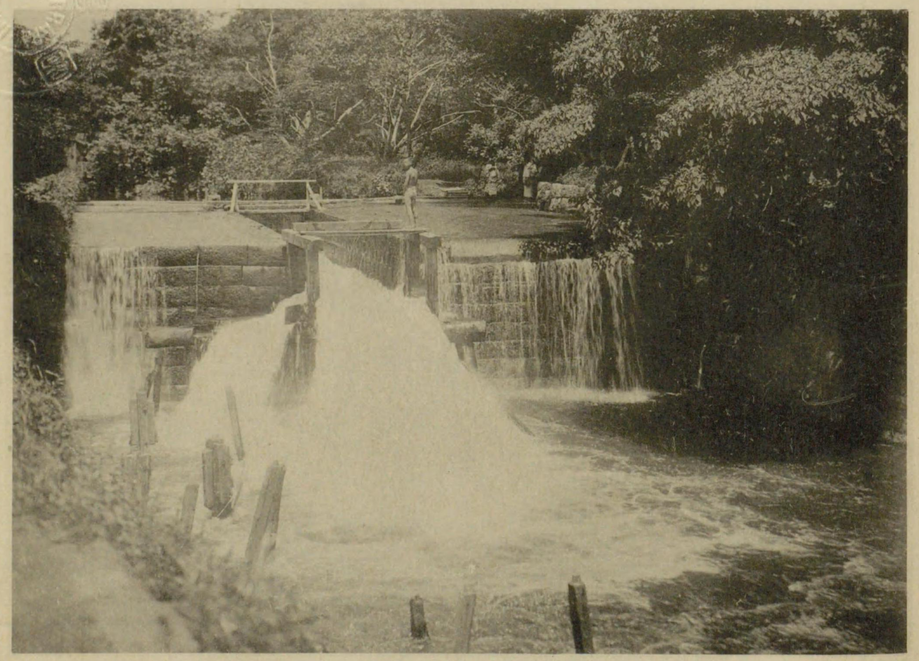
高尾山

高尾山は、南多摩郡淺川村上椚田の西方に峙ち、高さ六百餘米、小佛峠に續ける小峰なり。全山檜・松・杉等の巨木鬱蓊天を摩し、山中琵琶瀧・蛇瀧等の飛瀑ありて夏時の登臨殊に爽快なり。絶頂の見晴臺は、關東の平野より東京灣を雲煙縹渺の間に展望し得るのみならず、秩父群山・大山等の翠巒をも指點し得べく景頗る雄大なり。中秋に至れば紅楓の美を探らんが爲來り遊ぶ者亦多し。

山頂には藥師佛の古道場あり、藥王院有喜寺といふ。飯繩權現は永和年間沙門俊漂の勸請して一山の守護となせるものなり。



井之頭池

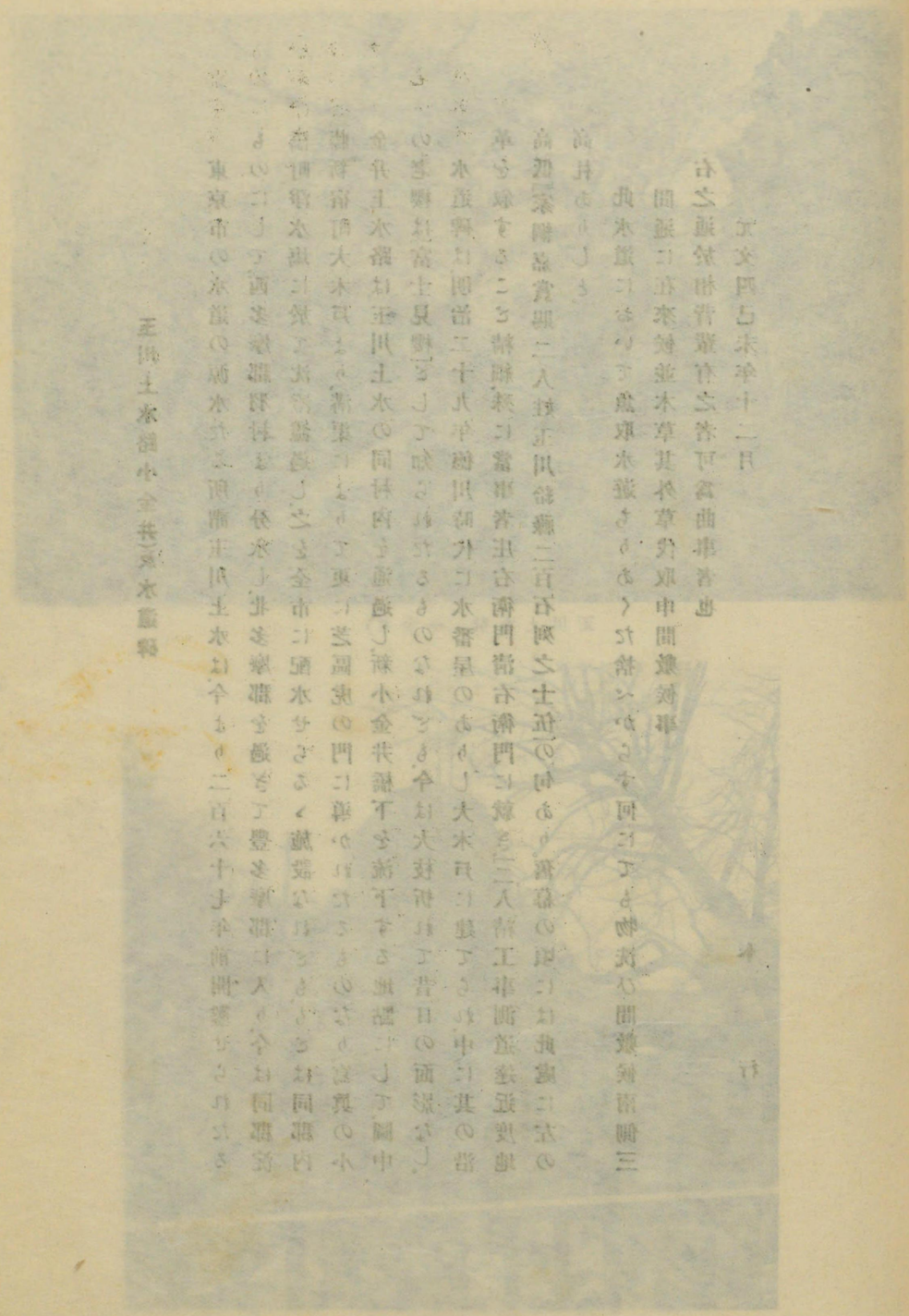


神田上水舊關口洗堰

井之頭池及舊關口洗堰

井之頭池は北多摩郡武藏野三鷹二村の間にあり。其の面積一萬四千坪、地下水の湧出滙溜して池となれるものにして池畔に大盛寺・辨財天堂あり。此の池の周圍はもと御料地たりしも、大正二年東京市の郊外公園となれり。

池の水は善福寺池と妙正寺池との流末を合せ、神田上水の源水となり流下約五里。徳川時代には市内に給水する必要上、水道の水位を高むる爲、天正年間小石川區關口に此の洗堰を設けたり。此の洗堰は今より百三十一年前天明六年に造られたるものなるが、明治四十三年來洗堰の水上屢〻洪水の災を蒙むれるにより、東京市は新に門扉によりて水位を調節し得る構造に改築しつゝあり。



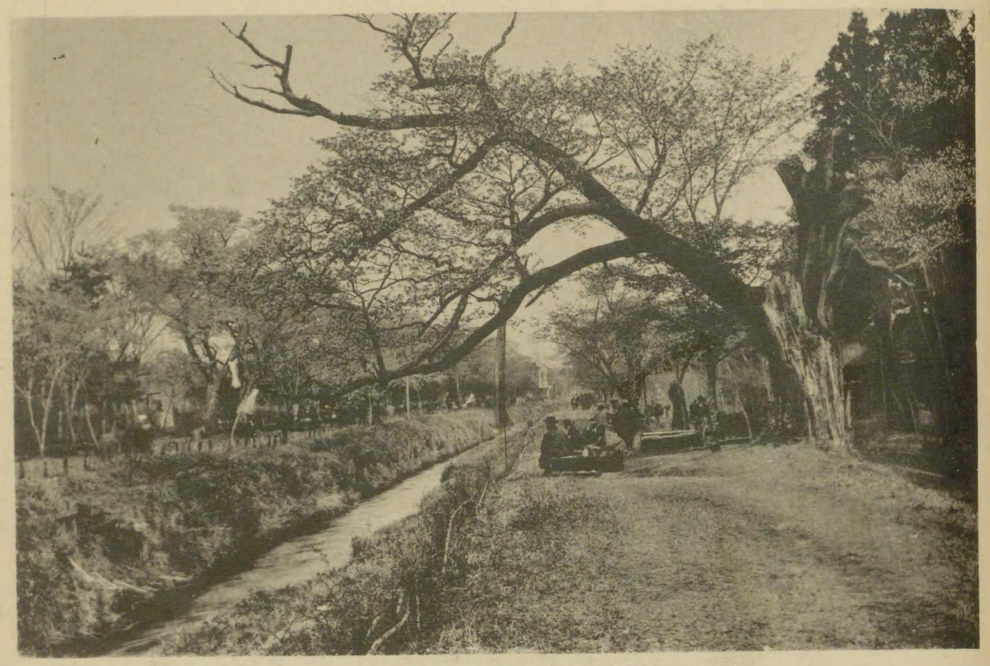
文久四甲子年未七月十二日

御普請御取掛ニ付御見分之節御通行

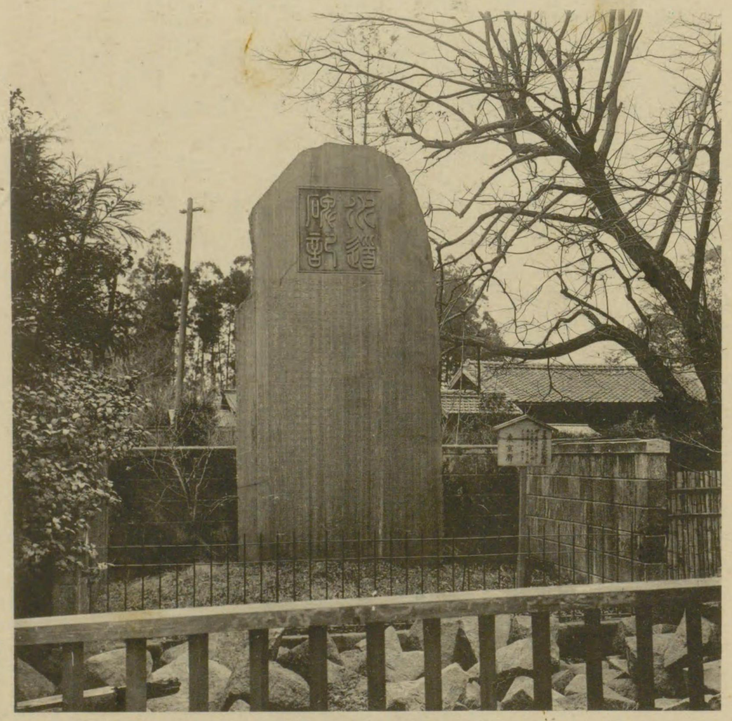
三間幅御普請御取掛ニ付御見分之節御通行

御普請御取掛ニ付御見分之節御通行

御普請御取掛ニ付御見分之節御通行



玉川上水路（小金井）



水道碑

玉川上水路（小金井）及水道碑

東京市の水道の源水たる所謂玉川上水は、今より二百六十七年前開鑿せられたるものにして、西多摩郡羽村より分水し、北多摩郡を過ぎて豊多摩郡に入り、今は同郡淀橋町淨水場に於て沈澄濾過し、之を全市に配水せらるゝ施設なれども、もとは同郡内藤新宿町大木戸より、溝渠によりて更に芝區虎の門に導かれたるものなり。寫眞の小金井上水路は玉川上水の同村内を通過し、新小金井橋下を流下する地點にして、圖中の老櫻は「富士見櫻」として知られたるものなれども、今は大枝折れて昔日の面影なし。

水道碑は、明治二十九年、德川時代に水番屋のありし大木戸に建てられ、中に其の沿革を叙すること精細、殊に當事者庄右衛門清右衛門に就き「二人精工事測道達近度地高低」「家綱嘉賞賜二人姓玉川給祿二百石列之士伍」の句あり。舊幕の頃には此處に左の高札ありしと。

此水道において魚取水遊ちりあくた捨べからず何にても物洗ひ間敷候兩側三間通に在來候並木草其外草伐取申間敷候事

右之通於相背輩有之者可爲曲事者也

元文四己未年十二月

奉行

東京帝國大學圖書館藏書

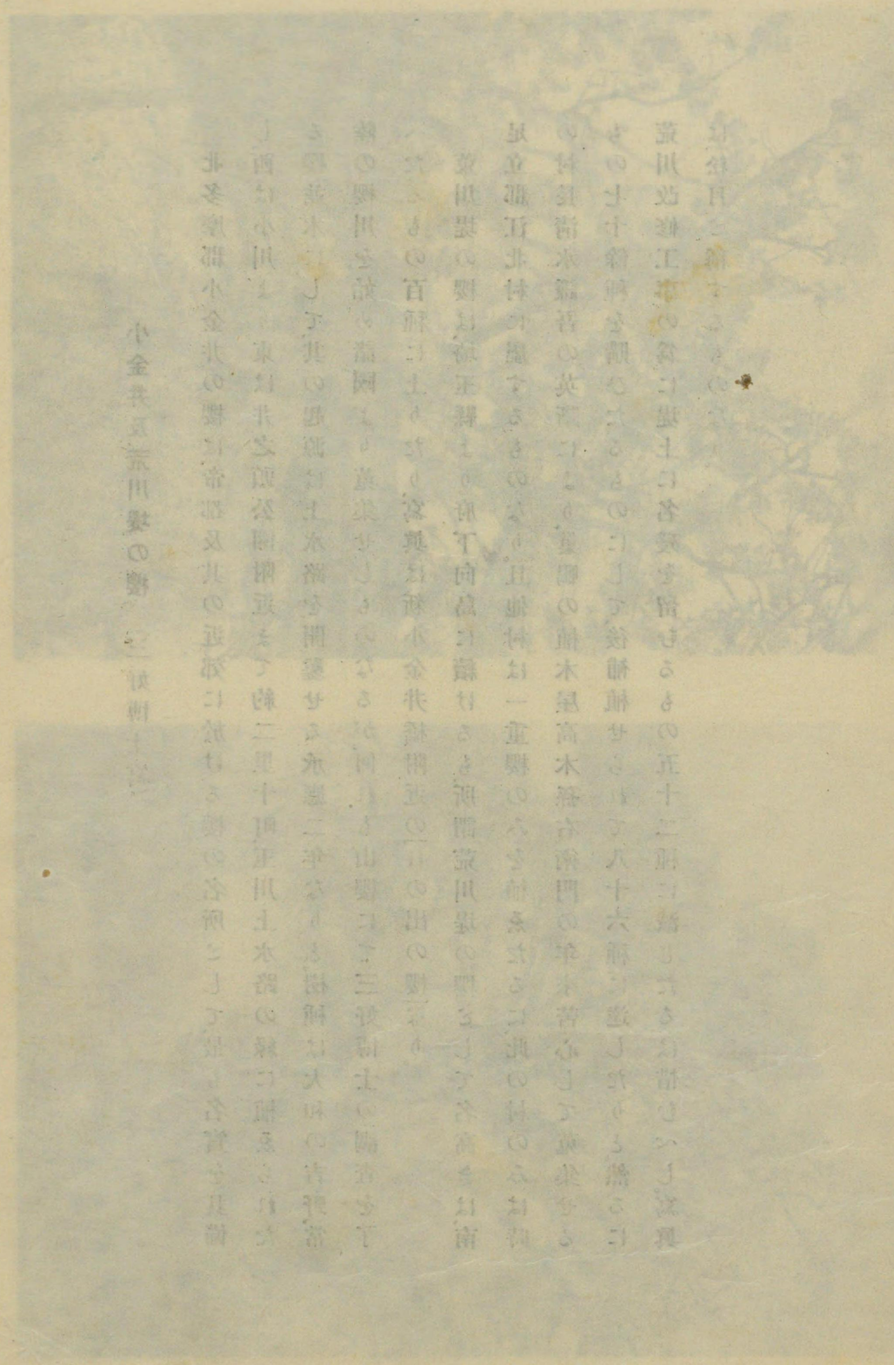
多摩川上流

鐘乳洞

多摩川及鐘乳洞

多摩川はもとタバカハといひ、源を甲州丹波山に發し、西多摩郡に入りて秋川を合せ、北多摩南多摩二郡の間を出入し、それより往原橋樹二郡の間を流れ、東京府と神奈川縣との境をなして東京灣に入る。其の西多摩郡を流るゝや、兩岸山聳り水激し、青梅町附近に於ても、なほ上圖の如く山脚兩岸に伸び、水幅狹くして流勢の迅きを見る。

鐘乳洞は西多摩郡氷川村日原多摩川の支流日原川の上流に沿ふ一石山中にあり。人跡の通ずる所約二百四十間、暗黑なる洞中縱橫に連絡するを以て、案內なければ歸路に迷ふの虞あり。洞內鐘乳石の垂下するもの少なし。入口狹く體を橫にして漸く入るも洞內は廣く、腹摺石、合天井、劍の峯、硯石、三途川、彌陀の原、死出の山、賽の河原等の名稱あり。十二藥師といふは、往時鐘乳石十二本垂下せし處なりしも、今は碎けて其の痕跡を留めず。



櫻の堤川荒

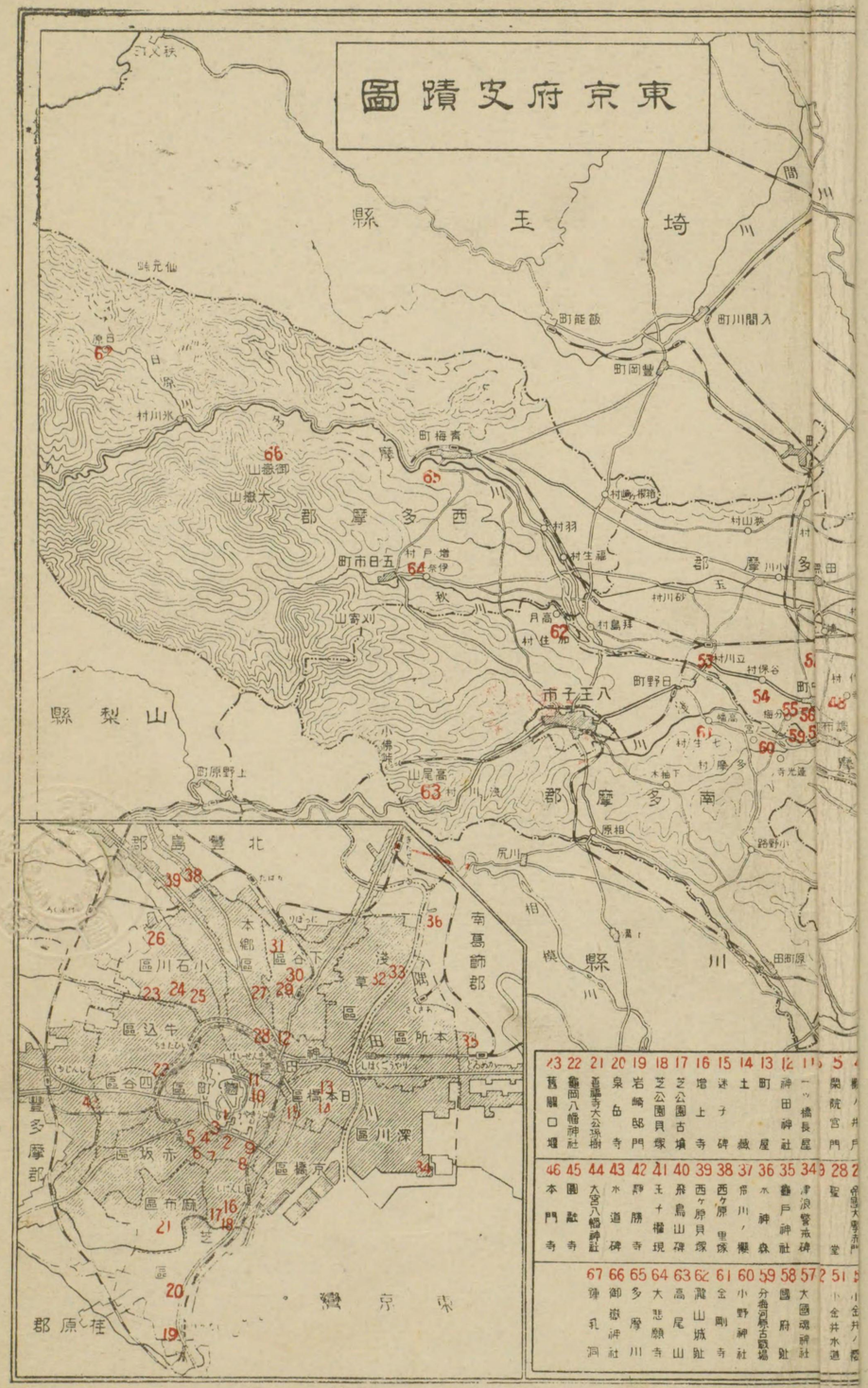
櫻の井金小

小金井及荒川堤の櫻　（三好博士寫）

北多摩郡小金井の櫻は、帝都及其の近郊に於ける櫻の名所として、最も名實を具備し、西は小川より東は井之頭公園附近まで約二里十町、玉川上水路の縁に植ゑられたる櫻並木にして、其の起源は上水路を開鑿せる承應二年なりと。樹種は大和の吉野、常陸の櫻川を始め諸國より蒐集せしものなるが。何れも山櫻にて三好博士の調査を了へたるもの百種に上りたり、寫眞は新小金井橋附近の「日の出の櫻」なり。

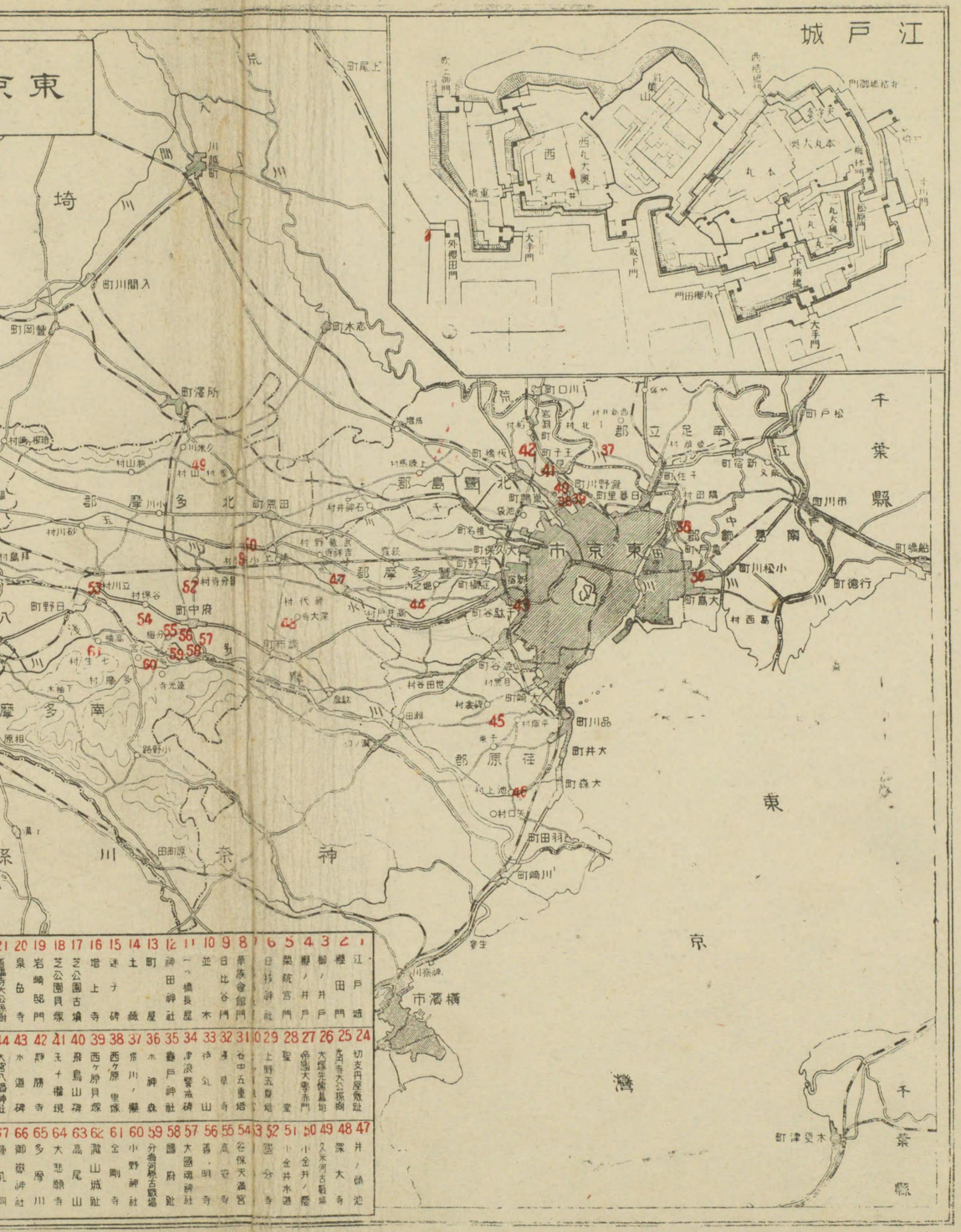
荒川堤の櫻は、埼玉縣より府下向島に續けるも、所謂荒川堤の櫻として名高きは、南足立郡江北村に屬するものなり。且他村は一重櫻のみを植ゑたるに、此の村のみは時の村長清水謙吾の英斷により、巢鴨の植木屋高木孫右衛門の年來苦心して蒐集せるもの七十餘種を購ひたるものにして、後補植せられて八十六種に達したりと。然るに荒川改修工事の爲に堤上に名殘を留むるものの五十二種に減じたるは惜むべし。寫眞は「松月」と稱するものなり。

東京府史蹟圖



23 舊職口壇	22 龜岡八幡神社	21 善國寺大公孫樹	20 泉岳寺	19 岩崎邸門	18 芝公園貝塚	17 芝公園古墳	16 增上寺	15 述子碑	14 土藏	13 町屋水神森	12 神田神社	11 一ツ橋長屋	5 關院宮門	4									
46 本門寺	45 圓融寺	44 大宮八幡神社	43 水道碑	42 靜勝寺	41 玉ヶ權現	40 泉鳥山碑	39 西ヶ原貝塚	38 西ヶ原里塚	37 帝川ノ藏	60 小野神社	59 分倍河原古戰場	58 國府址	57 大國魂神社	2	51 小金井水道	3							
		67 彈丸洞	66 御嶽神社	65 多摩川	64 大悲願寺	63 高尾山	62 瀧山城址	61 金剛寺															

帝國大學圖書印


江戸城
西丸大手門
西丸
本丸
大手門
外櫻田門
坂下門
内櫻田門
東京
埼玉
荒川
入間川
川越町
町川間入
町岡豐
町木志
町澤所
村山秋
村山
村川砂
村島貫
村野鍛冶
村井御石
村馬場上
町黒田
町名椎
町保久
町野中
町谷駄
町橋代
町口川
町岩淵
町子王子
町川野瀧
町里暮日
町調布
町袋河
町戸松
町宿新
町川市
町場船
町川松小
町島大
町德行
村西島
村谷田世
村寺光遠
村生七
村摩多
村川立
村保谷
町中府
村寺分目
村代府
村大深
村戸井御
町野日
町柿
町谷遠
町崎大
町川品
町井大
町森大
町田羽
町崎川
村口矢
村上遠
村素鍋
村千塚
村西
村原相
路野川
田町原
川奈
神奈川
川崎
川奈神
市濱橋
千葉縣
町津夏木
千葉
灣
東京
荒
尾上町
都島豐北
都摩川小多北
都摩多豐
都立足南
都原荏
都川荒
都区中
都区南
都区東
都区西
都区北
都区千
都区江
都区品
都区大
都区目
都区渋
都区世
都区新
都区杉
都区練
都区板
都区豊
都区文
都区荒
都区北
都区足
都区葛
都区江戸川
都区墨田
都区中央
都区港
都区千代田
都区台東
都区文京
都区豊島
都区北
都区荒川
都区板橋
都区練馬
都区足立
都区葛飾
都区江戸川
都区墨田
都区江東
都区品川
都区大田
都区目黒
都区渋谷
都区世田谷
都区新宿
都区杉並

東京府史蹟圖

江戸城

1 江戸城	2 櫻田門	3 柳ノ井戸	4 櫻ノ井戸	5 榮橋宮門	6 日枝神社	7 華族會館門	8 日比谷門	9 日比谷門	10 並木	11 一ツ橋長屋	12 神田神社	13 町屋	14 土	15 迷子碑	16 增上寺	17 芝公園古墳	18 芝公園貝塚	19 岩崎邸門	20 泉岳寺	21 芝區寺大公孫樹	22 龜岡八幡神社	23 舊職口壇
24 切支丹屋敷址	25 吉祥寺大公孫樹	26 大塚先儒墓地	27 帝國大學赤門	28 聖堂	29 上野五重塔	30 谷中五重塔	31 寛永寺	32 寛永寺	33 木	34 津浪警戒碑	35 靈戸神社	36 水神森	37 常川ノ櫻	38 西ケ原貝塚	39 西ケ原貝塚	40 飛鳥山碑	41 玉ノ權現	42 靜勝寺	43 水道碑	44 大宮八幡神社	45 園地	46 本門寺
47 井ノ頭池	48 深大寺	49 久米河古墳墓	50 小金井ノ櫻	51 小金井水道	52 區分寺	53 谷保天滿宮	54 高安寺	55 高安寺	56 善明寺	57 大國魂神社	58 國府趾	59 分倍河原古戰場	60 小野神社	61 金剛寺	62 龍山城趾	63 烏尾山	64 大悲願寺	65 多摩川	66 御嶽神社	67 雜		

江戸城
西丸
西丸大奥
本丸
大手門
外櫻田門
坂下門
下乘橋
門田櫻內
松原門
丸太橋
千葉縣
東京灣
神奈川縣
埼玉縣
山梨縣
東京市
荏原郡
南葛飾郡
北豐島郡
南多摩郡
北多摩郡
西多摩郡
市川
市川驛
市川松小
町德行
町船橋
町川品
町井大
町森大
町田羽
町崎川
町尾上
町川間入
町龍飯
町岡豐
町澤所
町梅青
町日五市
町野日
町中府
町原野上
町川氷
町本志
町口川
町戸松
町川市
町橋鐵
町宿新
町島大
町西高
町谷田世
町錦
町川品
町原荏
町上池
町田羽
町崎川
村川氷
村羽
村生練
村川砂
村川立
村保谷
村生七
村摩多
村川砂
村井綿石
村野藏
村代新
村戸足
村谷大深
村谷田世
村高
村原千
村戸增
村島羽
村住廣
村青分目
村山秋
村山秋
村川氷
村山秋

附錄

史的紀念物天然紀念物勝地保存心得

愛鄉ノ精神ハ其ノ鄉土ニ保有セラル、史的紀念物天然紀念物勝地等ニヨリテ涵養セラル、コト大ナルノミナラス國家的思想亦此ニ淵源ス故ニ今日民治ノ局ニ當リ訓育ノ職ニアル者ハ常ニ其ノ鄉土ニ於ケル史的紀念物天然紀念物及勝地ノ保存ト愛護トニ意ヲ致シ其ノ學術上ノ價値ヲ明ニシ進ンテ之カ利用ノ途ヲ講シ其ノ研究ヲ怠ラサルコトヲ要ス是等ノ保存ト研究トニ就キテハ將來出版物又ハ講演等ニヨリ隨時之ヲ指示スヘキモ郡市區町村及學校當事者ハ敎育會青年會其ノ他各種ノ團體竝篤志家ト共ニ左記標準ニ依リ之カ保存ノ道ト研究ノ方法ヲ講シ之ヲ地方敎化ノ要具トシテ十分其ノ利用ニ工夫スヘシ

保存スヘキモノノ種類

第一 史的紀念物　之ヲ分チテ史料及史蹟トス

其一　史料

史料トハ文書・記錄・金石文・地圖・繪畫・彫刻・棟札・制札等ヲ云フ

一、文書　布達・禁制・掟書・褒狀・知行狀・感狀・賣買貸借及讓與狀・願文・訴狀・裁許狀等ノ類

二、記錄　戸口・檢地・開墾・治水・漁獵・牧畜・林制其ノ他殖産與業及交通ニ關スルモノ及美事善行ノ事蹟等ニ係ルモノ

三、金石文　墓碑・鐘・鐸・燈籠・額・水盤等ノ銘文

四、地圖　國・郡・市・町・村・社寺其ノ他特殊建築物ノ圖面

五、繪畫　風景・花鳥・人物・庭園等ヲ畫ケルモノ

六、彫刻　神像・佛像・人物及天然物ヲ彫刻セルモノ

七、棟札　社寺・民家等ノ由來ヲ記セルモノ

八、制札　禁制及規定ヲ記セルモノ

其二　史蹟

史蹟トハ先史時代ノ貝塚・遺物包含層ト曆史時代ノ神社・寺院・墳墓・公署・城砦・都邑・民屋・學堂・市場・關所・驛場・橋梁・戰場・園池及其ノ遺址ヲ云ヒ其ノ他著名ナル事件及人物ニ由緣アル土地ヲ含ム

第二　天然紀念物　之ヲ分チテ動物・植物・及質地トス

其一　動物

動物ニテハ鳥獸魚介中地方固有ノモノ及珍奇ナルモノヲ主トス

其二　植物

植物ニテハ社寺墳墓等ニ由緣アル樹木・大樹・名木・並木又ハ一地方ノ代表的森林及重要ナル植物ヲ主トス

保存ニ關スル注意

一、市區町村ハ相當調査ノ上管内ニ於テ保存スヘキモノト認ムル史料史蹟天然紀念物及勝地ニ關シ名稱・種類・所在地・所有者・來歷・現況ヲ明記セル臺帳ヲ調製スルヲ要ス

二、史料ハ成ルヘク複本ヲ作製シテ之ヲ市區町村又ハ學校ニ保存シ水火等ノ災ニ遇ヒ散逸又ハ湮滅スルコトナカラシムルヲ要ス

三、史蹟及勝地ハ常ニ地形ノ毀損セサランコトヲ努メ殊ニ附近ノ開墾・耕地整理・道路改修等ニ當リテハ充分斟酌シ原形ヲ失フノ已ムヲ得サル場合ニ於テハ地圖・寫眞等ヲ作製シ後日ノ研究ニ遺漏ナカラシムルヲ要ス

四、天然紀念物中動物ハ成ルヘク其ノ適住地ニ安ンセシメ植物ニ就テハ風水・開墾・土工等ニヨリテ衰滅ノ恐多キ地區ヲ保護シ岩石ノ如キモ無益ニ採集又ハ破壞スルコトヲ避クルヲ要ス

五、保存スヘキ地物ニ對シテハ必ス標識ヲ設クヘク其ノ愛護ハ青年團等ノ努力ニ俟ツヘシ是レ愛鄉ノ觀念ヲ助長セシメ得ルカ故ナリ

六、保存ニ要スル經費ハ郡ニアリテハナルヘク郡費市區町村島嶼ニアリテハナルヘク市區町村費ヨリ支辨スヘキモ公益團體ノ經營篤志者ノ寄附又ハ一般ノ醵金ニ依ルヲ妨ケス

大正七年十月二十六日布告

東京府

史的紀念物天然紀念物勝地調査票記入心得

史的紀念物天然紀念物及勝地ノ所在ヲ調査スルハ之カ臺帳ヲ編製シ之ニヨリテ其ノ保存及標識ノ途ヲ講セントスルニアリ郡市區町村及學校當事者ハ敎育會青年會其ノ他各種ノ團體並篤志家ト共ニ左記調査標準ト記入注意事項トニヨリ調査票ニ記入ノ上報告セラルヘシ

調査標準

（調査標準ハ前布告中ノ史的紀念物天然紀念物勝地ニ揭ケタルト同シキヲ以テ玆ニ略ス）

記入注意事項

一、一名稱毎ニ必ス調査票一枚ヲ用ユヘシ

一、名稱欄ニハ例ヘハ文書ナラハ何御朱印・何御觸書・何訴狀・何五人組改帳・何宗門改帳・諸事覺帳・何日記等、金石文ナラハ何墓碑・何鐘・何額等、地圖ナラハ國・郡・市・區・町・村等、史蹟ナラハ何貝塚・何古墳・何神社・何寺院・何城砦・何民屋・何市場等ヲ明記スヘシ

一、所在地欄ニハ市區町村名並ニ大字小字ハ勿論、所在番地ヨリ田畑山林宅地等ノ地目ヲ明記スル外、何小學校何神社何寺ヨリ何方ニ約何町又ハ何街道ヨリ何方ニ約何町等附記スヘシ

一、所有者欄ニハ郡市區町村有ナラハ其ノ名、個人有ナラハ其ノ住所氏名等明記スヘク所有權ノ移動ノ明ナル者ハ新舊所有者ノ名及其ノ理由ヲモ附記スヘシ

一、面積又ハ形狀欄ニハ文書・記錄・金石文・史蹟等何レモ其ノ形狀ノ特徵等明ニスルヤウ記入スヘシ、天然紀念物中木石ニ就キテハ大小長短周圍（立木ハ目通周圍何尺、高サ何尺、樹齡何年）及動植物ノ分布ハ其ノ區域ヲ記載スルヲ要ス

一、來歷及傳說欄ニハ其ノ史料タリ史蹟タリ天然紀念物タリ勝地タル由緣ヲ明ニスヘキ一切ノ口碑傳說ヲ記シ其ノ出所ノ明

カナルモノハ特ニ其ノ所據（書籍名）ヲ明記スヘシ

一、現狀欄ニハ主トシテ保存ノ現狀ヲ記入スヘキモ破壞湮滅ノ急ニ迫リ居ルモノハ特ニ朱書スヘシ

一、調査者ハ必ス調査ノ月日及氏名ヲ明記スヘシ

一、上記各欄ニ記入シ終ラサル時又ハ以外ニ記載スヘキ事項アル時ハ調査票ノ裏ニ新ニ欄ヲ設ケテ記入スヘシ

大正八年二月十一日

東京府

大正八年六月二十五日印刷
大正八年六月二十八日發行

東京府藏版

頒布費　金貳圓八拾錢

發行兼印刷者　東京市牛込區市谷谷町九十三番地　高梨由太郎

印刷所　東京市牛込區市谷谷町九十三番地　洪洋社寫眞印刷部

發行所　東京市牛込區市谷谷町九十三番地　洪洋社
電話番町一九九五番
振替東京二一八二四番

不許複製

147
243